



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社フルヤ金属
 コード番号 7826
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <https://www.furuyametals.co.jp/>
 (氏名) 古屋 堯民
 (氏名) 松本 重幸 TEL 03-5977-3377

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	74,730	83.1	17,336	109.4	16,935	116.9	11,687	114.4
2025年6月期第3四半期	40,808	22.3	8,281	14.5	7,809	12.1	5,450	12.5

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 11,741百万円(117.0%) 2025年6月期第3四半期 5,410百万円(11.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	475.30	473.74
2025年6月期第3四半期	221.85	221.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	125,397	74,030	58.9
2025年6月期	123,864	64,580	52.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 73,882百万円 2025年6月期 64,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	96.00	96.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	155.00	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	67.3	22,500	135.9	22,000	134.3	15,000	131.9	609.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期3Q	25,389,636株	2025年6月期	25,389,636株
2026年6月期3Q	790,331株	2025年6月期	813,595株
2026年6月期3Q	24,589,630株	2025年6月期3Q	24,565,696株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が底堅く推移した一方、中国経済の回復は緩やかなものにとどまり、原材料価格の高止まりに加え、中東情勢を含む地政学リスクの高まり等により、先行き不透明な状況が継続いたしました。

わが国経済においては、企業収益の改善や設備投資の持ち直しを背景に緩やかな回復基調が見られたものの、物価上昇の長期化や、金融政策の転換局面における不確実性が、景気の下振れリスクとして意識される状況となりました。

このような事業環境のもと、当社は世界的な需給変動や貿易環境の変化、為替動向及び貴金属価格の高騰・変動といった外部環境の影響を踏まえ、デジタル及びグリーン分野向け製品の高付加価値化を推進するとともに、安定供給体制の強化に取り組んでまいりました。

一方で、為替相場の円安進行は、貴金属価格の上昇及び輸出採算の改善を通じて、当社業績にプラスの影響を与えました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高74,730百万円(前年同四半期比83.1%増)、売上総利益20,794百万円(前年同四半期比83.8%増)、営業利益17,336百万円(前年同四半期比109.4%増)、経常利益16,935百万円(前年同四半期比116.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益11,687百万円(前年同四半期比114.4%増)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① セグメント別の業績

[電子]

医療用シンチレーター(放射線にあたり、蛍光を発する物質)の単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が底堅く推移するとともに、データセンター間の光通信用アイソレーター(順方向に進む光のみ透過し、逆方向の光を遮断する部品)の光学結晶育成装置向けイリジウム及びプラチナ製ルツボの受注が好調に推移、スマートフォン用SAWフィルター用ルツボは素材の転換が進み復調傾向にあり、売上高7,407百万円(前年同四半期比54.3%増)、売上総利益1,844百万円(前年同四半期比13.9%増)となりました。

[薄膜]

旺盛なデータセンター投資を背景に、記憶媒体として使用されるHD(ハードディスク)向けスパッタリングターゲットの受注は引き続き好調に推移するとともに、半導体向けターゲットの受注が伸長し、売上高11,851百万円(前年同四半期比38.0%増)、売上総利益6,031百万円(前年同四半期比74.4%増)となりました。

[サーマル]

半導体製造装置向けの底堅い交換需要に加えて、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーの投資再開や在庫調整局面の一服から受注回復基調に転じ、売上高4,359百万円(前年同四半期比21.7%増)、売上総利益1,354百万円(前年同四半期比12.9%増)となりました。

[ファインケミカル・リサイクル]

苛性ソーダ製造等に使用される電極向け貴金属化合物の受注が回復、有機EL向け化合物も受注に回復の兆しが見え始める一方、化学プラント向け化合物の受注回復への足取りは重く、売上高18,636百万円(前年同四半期比2.0%減)、売上総利益6,419百万円(前年同四半期比29.9%増)となりました。

[サプライチェーン支援]

貴金属価格の上昇を背景に、当社製品の受注に関係しない貴金属原材料についての需要が高まり、売上高14,632百万円(前年同四半期比255.6%増)、売上総利益1,582百万円(前年同四半期比1,553百万円増)となりました。

② 海外売上

当第3四半期連結累計期間における海外売上高は56,406百万円(総売上高に占める割合は75.5%)となりました。地域別にはアジア向け売上高31,886百万円(海外売上高に占める割合は56.5%)、欧州向け売上高は15,145百万円(海外売上高に占める割合は26.9%)、北米向け売上高は9,375百万円(海外売上高に占める割合は16.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は125,397百万円(前連結会計年度末比1,532百万円の増加)、総負債は51,366百万円(前連結会計年度末比7,917百万円の減少)、純資産は74,030百万円(前連結会計年度末比9,450百万円の増加)となりました。

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は97,233百万円となり、前連結会計年度末比2,474百万円減少いたしました。これは、売掛金が3,183百万円、未収消費税等が3,245百万円それぞれ増加しましたが、原材料及び貯蔵品が7,592百万円減少したことが主な要因であります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は28,163百万円となり、前連結会計年度末比4,007百万円増加いたしました。これは、建設仮勘定が2,539百万円増加したことが主な要因であります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債残高は39,155百万円となり、前連結会計年度末比7,397百万円減少いたしました。これは未払法人税等が3,092百万円、支払手形及び買掛金が1,739百万円それぞれ増加しましたが、短期借入金が12,400百万円減少したことが主な要因であります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債残高は12,211百万円となり、前連結会計年度末比520百万円減少いたしました。これは長期借入金が481百万円減少したことが主な要因であります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は74,030百万円となり、前連結会計年度末比9,450百万円増加いたしました。これは利益剰余金が9,328百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,047	5,756
売掛金	3,451	6,634
受取手形	143	164
商品及び製品	4,146	8,785
仕掛品	5,599	5,974
原材料及び貯蔵品	72,648	65,055
未収消費税等	498	3,743
デリバティブ債権	—	769
その他	174	348
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	99,708	97,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,463	4,364
機械装置及び運搬具(純額)	9,459	10,351
土地	3,009	3,009
リース資産(純額)	496	328
建設仮勘定	1,860	4,400
その他(純額)	187	179
有形固定資産合計	19,477	22,633
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,952	3,571
その他	47	58
無形固定資産合計	2,999	3,630
投資その他の資産		
投資有価証券	52	51
繰延税金資産	1,478	1,540
その他	150	309
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,679	1,900
固定資産合計	24,156	28,163
資産合計	123,864	125,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,343	24,083
未払金	2,942	3,463
短期借入金	13,400	1,000
1年内返済予定の長期借入金	4,374	4,774
未払法人税等	1,125	4,217
資産除去債務	—	48
賞与引当金	494	125
役員賞与引当金	111	—
設備関係未払金	256	48
リース債務	123	126
デリバティブ債務	124	—
その他	1,256	1,268
流動負債合計	46,552	39,155
固定負債		
長期借入金	10,826	10,344
退職給付に係る負債	980	1,055
資産除去債務	42	23
長期未払金	401	401
リース債務	467	373
その他	13	12
固定負債合計	12,731	12,211
負債合計	59,284	51,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,662	10,662
資本剰余金	12,348	12,379
利益剰余金	42,654	51,982
自己株式	△1,287	△1,250
株主資本合計	64,377	73,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	81	117
退職給付に係る調整累計額	△18	△11
その他の包括利益累計額合計	64	107
新株予約権	77	77
非支配株主持分	61	71
純資産合計	64,580	74,030
負債純資産合計	123,864	125,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	40,808	74,730
売上原価	29,496	53,936
売上総利益	11,312	20,794
販売費及び一般管理費	3,031	3,457
営業利益	8,281	17,336
営業外収益		
受取家賃	16	17
為替差益	1,817	—
デリバティブ評価益	—	894
その他	14	26
営業外収益合計	1,849	938
営業外費用		
支払利息	944	677
為替差損	—	631
デリバティブ評価損	1,326	—
その他	49	30
営業外費用合計	2,320	1,338
経常利益	7,809	16,935
税金等調整前四半期純利益	7,809	16,935
法人税、住民税及び事業税	1,833	5,303
法人税等調整額	532	△64
法人税等合計	2,366	5,238
四半期純利益	5,442	11,697
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,450	11,687

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	5,442	11,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
為替換算調整勘定	△30	36
退職給付に係る調整額	△1	7
その他の包括利益合計	△32	43
四半期包括利益	5,410	11,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,417	11,731
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直しし、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第3四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「商品及び製品」が151百万円減少し、「原材料及び貯蔵品」が644百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が769百万円増加しております。また、「仕掛品」が646百万円減少し、「建設仮勘定」が674百万円増加しております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
	増減額(百万円)	増減額(百万円)	増減額(百万円)
商品及び製品	△43	185	△151
原材料及び貯蔵品	45	△95	△644
仕掛品	△671	13	△646
機械装置及び運搬具	△96	△228	769
建設仮勘定	766	124	674

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケ ミカル・リ サイクル	サプライチ ェーン支援	計		
売上高								
日本	2,684	1,921	1,998	8,372	212	15,189	290	15,480
アジア(日本以外)	31	4,037	1,431	258	3,160	8,920	425	9,346
欧州	6	628	26	7,887	742	9,291	—	9,291
北米	2,076	1,999	126	2,488	—	6,691	—	6,691
顧客との契約から 生じる収益	4,799	8,587	3,583	19,006	4,115	40,092	716	40,808
外部顧客への売上高	4,799	8,587	3,583	19,006	4,115	40,092	716	40,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,799	8,587	3,583	19,006	4,115	40,092	716	40,808
セグメント利益	1,620	3,457	1,199	4,942	28	11,248	63	11,312

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に仕入製品等の販売であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケ ミカル・リ サイクル	サプライチ ェーン支援	計		
売上高								
日本	2,858	2,893	2,326	8,063	1,469	17,611	711	18,323
アジア(日本以外)	189	5,563	1,869	471	9,572	17,666	14,220	31,886
欧州	232	1,141	49	7,738	3,214	12,374	2,770	15,145
北米	4,126	2,253	114	2,362	376	9,234	140	9,375
顧客との契約から 生じる収益	7,407	11,851	4,359	18,636	14,632	56,887	17,843	74,730
外部顧客への売上高	7,407	11,851	4,359	18,636	14,632	56,887	17,843	74,730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,407	11,851	4,359	18,636	14,632	56,887	17,843	74,730
セグメント利益	1,844	6,031	1,354	6,419	1,582	17,233	3,561	20,794

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない仕入商品および製品等の販売であります。当第3四半期連結累計期間において、サプライチェーン支援用の商品在庫を超える強い引き合いに対応するため、イリジウム・ルテニウムについて、原材料在庫からの貴金属販売を実施しました。その結果、原材料在庫からの貴金属販売における売上高は16,558百万円、売上総利益は3,270百万円となり、それぞれが「その他」のセグメントに含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	944百万円	937百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。